



天保六年  
未春新版

山本平吉梓

# 歌琴小文縁合彈

上

式亭小三馬作  
香蝶樓國貞画

壹



七五三の献まき會席料理に寵を奪ひ山三河國が舞振ハ秀佳梅玉之所  
 作直にむらさき六葉川の古國をひくも歌川の新編珠明の赤本の古調を  
 圖に合奏の今様現想のなるに料理茶屋ハ所席の招牌さぞ空に保養  
 月傭の便利を徹くのむらさきとさく織にあふ大町よりハ都少賑ひ  
 南鏡よりハ一身が調法大奉よりハ中奉と後まゝ賣る番繪を竹田近江が  
 機関を長谷川大仕掛工事も吉田何ヶヶ水中の早參落を七役  
 七変化怪談源氏水辭傳戲場がら西に東も夜見世が無雙留箱も  
 抄子も薄羽織鯨帯八藤形にこむそう下駄一巾箒ま納戸色影も  
 時を藍摺の萬葉よりハ変化の流行く曉らハ奈良良やハ山奉が注  
 文ハ近曾時花の積切と画組書ハうらな近松竹田が名作を二荷にまふ  
 野崎村急作多々今蒸もろくはその編成くそのなう

天保六年乙未孟春

式亭小三馬誌





ひき  
奇  
放  
あけ  
柳  
文草

丁  
雅  
久松



由  
屋  
於  
漆



山家屋  
左四郎

船越壽右衛門  
妹於園



水鷗  
柳

野奇村  
久作

















國貞画小三馬作



柳亭種彦作歌川國貞画合卷標題

御詠染遠山鹿子 五編四門 六編四門

天保乙未春新彫甲午の霜月より重相遠賣出十一以

時代建 淨瑠璃合 風俗江湖傳 八冊

三扇古渡佐羅紗 全六冊 二編各書四

以上二種天保丙申新彫未冬より發市 芳田川岸あやぢ松角 栄久堂 山本屋平吉梓



天保六年  
生春新板

香蝶樓國貞画

式亭山三馬作























天保六年春新刻日録

<p><b>菅原傳授手習紙</b> 全六冊 歌川國芳画 墨川亭雪麿作</p>	<p><b>三國志</b> 針返舎 編全八冊 歌川國安画</p>	<p><b>美艷仙女香</b> 包 歌川國安画</p>	<p><b>黒仙義香</b> 包 歌川國安画</p>
<p><b>夜討曾我人形製</b> 全四冊 後編四冊 香蝶樓國貞画</p>	<p><b>於歌祭文縁合奏</b> 全四冊 香蝶樓國貞画</p>	<p><b>浦里姫操競優軍配</b> 全六冊 香蝶樓國貞画</p>	<p><b>安達原筆</b> 全十二冊 香蝶樓國貞画</p>

榮久堂

地本錦繪

問屋

山本平吉版

江戸一町河岸親仁橋角

香蝶樓國貞画回

式亭小三馬作



この本は、香蝶樓國貞の畫作を、式亭小三馬が撰じたものである。其の畫は、人物の神態を巧みに描き、色彩もまた、見る者を驚かすほどの美しさがある。此の書は、その畫の精華を集めたものである。其の巻の数は、全六冊である。其の題名は、『菅原傳授手習紙』である。其の作者は、墨川亭雪麿である。其の畫家は、歌川國芳である。其の巻の数は、全六冊である。其の題名は、『三國志』である。其の作者は、針返舎である。其の畫家は、歌川國安である。其の巻の数は、全八冊である。其の題名は、『美艷仙女香』である。其の作者は、包である。其の畫家は、歌川國安である。其の巻の数は、全六冊である。其の題名は、『黒仙義香』である。其の作者は、包である。其の畫家は、歌川國安である。其の巻の数は、全四冊である。其の題名は、『夜討曾我人形製』である。其の作者は、後編四冊である。其の畫家は、香蝶樓國貞である。其の巻の数は、全四冊である。其の題名は、『於歌祭文縁合奏』である。其の作者は、香蝶樓國貞である。其の巻の数は、全六冊である。其の題名は、『浦里姫操競優軍配』である。其の作者は、香蝶樓國貞である。其の巻の数は、全十二冊である。其の題名は、『安達原筆』である。其の作者は、香蝶樓國貞である。

式亭小三馬の撰じた香蝶樓國貞の畫作。其の巻の数は、全六冊である。其の題名は、『菅原傳授手習紙』である。其の作者は、墨川亭雪麿である。其の畫家は、歌川國芳である。其の巻の数は、全八冊である。其の題名は、『三國志』である。其の作者は、針返舎である。其の畫家は、歌川國安である。其の巻の数は、全六冊である。其の題名は、『美艷仙女香』である。其の作者は、包である。其の畫家は、歌川國安である。其の巻の数は、全六冊である。其の題名は、『黒仙義香』である。其の作者は、包である。其の畫家は、歌川國安である。其の巻の数は、全四冊である。其の題名は、『夜討曾我人形製』である。其の作者は、後編四冊である。其の畫家は、香蝶樓國貞である。其の巻の数は、全四冊である。其の題名は、『於歌祭文縁合奏』である。其の作者は、香蝶樓國貞である。其の巻の数は、全六冊である。其の題名は、『浦里姫操競優軍配』である。其の作者は、香蝶樓國貞である。其の巻の数は、全十二冊である。其の題名は、『安達原筆』である。其の作者は、香蝶樓國貞である。



